鉄道コレクション対応　点灯化キット　JR四国1000形・1200形対応

NR-1000　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。

本キットは以下の車種に対応します。
- JR四国1000形
- JR四国1200形

本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（チラツキ対策を施しています。）

⚠ ご注意
- この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- 機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- 加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- 加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- 接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- 車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
- ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- 脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- 当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
- ライトユニット　：　1個/セット

【その他】
- 説明書（本紙）　：　1枚
- 導電性アルミテープ（15mm×約120mm）　：　3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
- カッティングマット
- ピンセット
- ニッパ
- ~~プラスドライバー~~
- 両面テープ
- ~~木工ボンド~~
- ~~ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラピー」など）~~
- カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）
- 楊枝，綿棒など
- ~~ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）~~
- ~~精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~
- ゴム系接着剤
- ~~プラモデル用接着剤~~
- 直定規
- 塗装面を保護する柔らかい布
- ~~ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
- ~~サンドペーパー~~
- ~~マスキングテープ~~
- ~~瞬間接着剤~~
- ~~遮光用の塗料（黒または銀）~~

●取り付け手順

1. 分解する

1−1　床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1−2　アンテナを保護する

アンテナは、ボディにモールドされておりきわめて破損しやすくなっていますので、厳重に保護しておきます。

1−3　側窓を外す

側窓を外します。前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。

1−4　前面透明パーツを外す

前面透明パーツを外します。
まず、ボディとライトレンズの隙間を精密ドライバーなどでコジって、ライトレンズ・貫通扉窓を浮かします。
次に、ライトレンズ・貫通扉窓を引き抜きます。

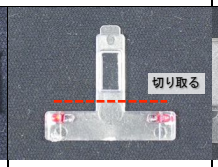
2. 車体を加工する

（1−4つづき）

最後に前面窓を外します。
前面窓のリング状部分を車内側に引き出し、全体を横にずらして外します。

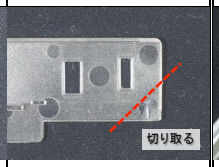
2−1　前面透明パーツの加工

前面窓のリング状部分の下側を、横方向のリブの直上で切り取ります。



ライトレンズ・貫通扉窓を、貫通扉窓の少し下側で切断します。ライトレンズ部分は使用しないので保管します。

2−2　側窓を加工する



側窓の前端下部を最初の窓の下で、45度に切り欠きます。

3. ライトユニットの取付

3−1　前面透明パーツの取付

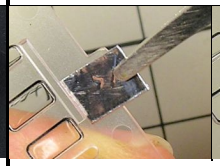
貫通扉窓、前面窓をはめます。

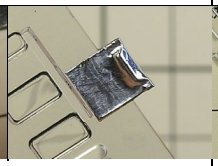
3−2　ライトユニットの取付

ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。

4. 配線する

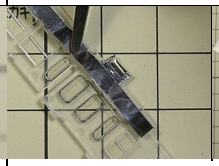
4−1　側窓の凸部にアルミテープを貼る

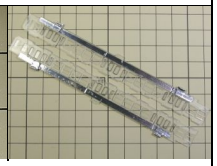




5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。
側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。
両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。

4−2　側窓下にアルミテープを貼る





1.5mm×115mmのアルミテープを2本用意します。
側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。
両側の側窓に貼ります。

4−3　側窓をはめる

側窓をはめます。
固定できなくなっているので、両面テープで固定します。

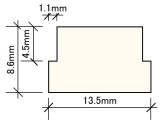
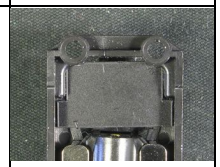
4−4　ライトユニットへ配線する

1.5mm×15mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

側窓下の通電の確実を期して、3mm×10mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●遮光床を取り付ける（動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで）

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
TM-15/16用遮光床 型紙  0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 （遮光に適した黒いプラ板を分売しています）	 動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。 前後両端に取り付けます。

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15, 店舗営業はしていません。
phone：0468-27-7261, 10:00～18:00 土日祝休業, e-mail：shop@ism-works.shop-pro.jp.